

奥武蔵：日和田山（男岩・女岩）

- ◆日程 2023年9月26日（火）
- ◆メンバー L：TY、IZ
- ◆天候 晴れ

山の会に入ったものの「岩登りは特別な人がやるものだ」という思いがあった。ロープシステムが理解できる気がしなかった。広沢寺・三つ峠・つづら岩を経て、岩をやるんだと覚悟を決めた。直後、自身のけがや covid 蔓延でとん挫。でもジムで人工壁だけはのぼってきた。

技術面や岩場情報は「イラスト・クライミング」「Rock&Snow」などの書籍・雑誌に加え、山岳会やスクール講習の web ページを参考にしている。T で始まる登山教室のページで「日和田山のステミングフェース」が目にとまった。要約すると、高グレードを追いすぎると山登りの実践から離れてしまう（体脂肪に気を遣うあまり体力や持久力を失う）ジレンマがあり、長く安全に山を楽しむための区切りがステミングフェースのクリアと提言しているのである。

人工壁でのスポーツクライミングと外岩特にアルパインの乖離に悩み、自分の現在地が知りたかった。同様に、ジムに通いつめ登るようになり岩ではどうなんだろう？とものさしを求めていたという TYさんと、平日岩トレを実施した。

平日でガラガラ…?という期待に反し 20 人程はいただろうか。ロープのかかっているところを探すのが大変なくらい。IV～V、5.5～5.10 台と、ちょうどよいレベルのルートが小さな岩場 2 つに詰まっている。斜面を歩いて上に出られ、多数ある支点到トップロープも簡単に張れる。これは人気が出るはずだ。近くにいた女性客とマンツーマンのガイドは山田哲哉さんという方で、TYさんは著書も読んだことがあるという。70 前後の小柄な男女三人組は力みのない動きでスイスイとお手本のように登り、ギラギラしたところのないホンワカした会話の脱力系クライマーたち。大学生の先輩後輩か？若い男子もいる。荷揚げをしている玄人も。

男岩南面で 3 本(クラック右 5.5、右ルート 5.6、クラック 5.5)、西面で 2 本(バルジ 5.8、ステミングフェース 5.7)続いて男岩南面の前傾フェース 5.9 での試行錯誤は面白かった。

最後に女岩西面ハングのニューレフト 5.10a。二人とも途中で断念、共通の感想は「壁に立っているだけで疲れる」。ずっと背筋を使っている必要がありムーブを起こせない。いろいろ試し、こういう場面でヒールやトウなどフック系の威力が発揮されるのかなと体感したことは大きな収穫であった。触るだけになったが、せつかく来たのだからとトライしてよかった。

駅から岩場まで歩いて、難しすぎず怖すぎず威圧感もなく、楽しさいっぱい。岩に憧れは秘めていても気後れがあるという方にこそおススメ！人気すぎて休日の混雑が課題・・・。

自分と岩との距離が分かってきた気がする。TYさん、ありがとうございました。(記：IZ)

CT：西武秩父線高麗駅 9:08 - 日 WD 山見晴らしの丘登山口 9:24 - 男岩・女岩 9:49
 ~15:20 - 登山口 15:37 - 高麗駅 15:53

左から①男岩わきの斜面から見る女岩②男岩西面ステミングフェース③男岩南面④同・前傾フェース

